

本日は、ここに第3回里山シンポジウムが盛大に開催されますことをお喜び申し上げますと共に、本日御参加いただいた皆様の御努力には心から感謝申し上げます。

今回もシンポジウムに参加させていただいて、皆さんと一緒に里山の再生や保全、残土問題に関して、お話できることを楽しみにしていましたが、公務のため参加できなくなり、大変残念です。

私は、国会議員時代から、環境問題に積極的に取り組んでまいりました。千葉県知事に就任してからは、産業廃棄物の問題をはじめ千葉県の美しい県土の保全に努めてきましたので、『里山とごみ』という“美しい県土の保全”にとって重要な問題がテーマとして議論されることをうれしくそして、心強く思います。

また、このテーマには、本当に皆さんの里山を愛する熱い思いが込められているのではないかと思います。

県では、平成15年5月に里山条例を制定し、この日を「里山の日」としておりますが、未来の人たちから預かっている大切な財産である里山を、県民や企業、NPOなどの多くの人々が力を合わせ、保全し、活用しながら人と里山との新たな関係を築いていきたいと考えています。

御参加された皆様には、本シンポジウムの開催を契機として、一層議論が深まり、人と里山の共生を目指した活動がさらに活発になることを願っております。

千葉県知事 堂本暁子